

2021年8月20日

各位

株式会社 SBI証券

SBI証券、「Pontaポイント」導入のお知らせ**～国内主要証券初となる複数の共通ポイントから選べるポイント投資サービス～**

株式会社 SBI証券(本社:東京都港区、代表取締役社長:高村正人、以下「SBI証券」)は、株式会社ロイヤリティマーケティング(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:長谷川剛)と提携し、2021年11月から、1億268万人^{※1}が利用する共通ポイントサービス「Ponta(ポンタ)」を導入することとなりましたので、お知らせします。

このたびの提携により、SBI証券のお客さまは、①取引に応じてPontaポイントをためることや、②投資信託の買付代金にPontaポイントがつかえる「Pontaポイント投資」が可能となります。これまでSBI証券では「Tポイント」を導入していましたが、「ポイントを貯める」「ポイントを使う(ポイント投資)」といった場面で利用するポイントを「Tポイント」「Pontaポイント」から選択することが可能となります。なお、複数の共通ポイントを投資に使えるマルチポイントサービスは国内主要証券^{※2}では初の取り組みとなります。









The graphic features the SBI証券 logo and the Ponta logo at the top. Below, a cartoon squirrel character is shown with a speech bubble that says "2021/11 スタート! (予定)". To the left, the text reads "SBI証券で、Ponta たまる!つかえる!". At the bottom, two points are listed: "Point1 取引に応じてポイントがたまる" and "Point2 たまったポイントで投資ができる". An illustration shows a hand holding a smartphone with an arrow pointing to a stack of Ponta points.

※1 2021年7月末時点

※2 比較対象範囲は、国内主要証券10社です。「国内主要証券」とは、ネット証券口座開設数上位5社のSBI証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、auカブコム証券(順不同)と、対面証券営業利益上位5社の野村證券、大和証券、SMBC日興証券、みずほ証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券(順不同)を指します(2021年8月20日(金)時点、当社調べ)。

■マルチポイントサービス

	従来のポイントサービス	新しいポイントサービス
貯まる	 T-POINT	 NEW  T-POINT
使える	 T-POINT	 NEW  T-POINT

■Ponta ポイントの設定方法・画面イメージ

利用するポイントは、メインポイント設定画面でいつでも変更可能です。

SBI証券

メインポイント設定

設定中のポイント


Pontaポイント

設定可能なポイント


Tポイント


Pontaポイント

キャンセル

設定

[カード登録の解除はこちら](#)

[お問い合わせ](#) | [投資情報の免責事項](#) | [決算公告](#) | [金融商品取引法に係る表示](#) | [システム障害の備え](#)

金融商品取引業者 株式会社SBI証券 関東財務局長(金商)第44号 加入協会/日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
SBI証券(旧SBIイー・トレード証券:ネット証券最大手) - オンライントレードで株式・投資信託・債券を - © SBI SECURITIES Co., Ltd. ALL Rights Reserved.

■「Ponta ポイント」のサービス概要

①取引実績等に応じた Ponta ポイント加算(ポイントがたまる)

対象となる取引やサービスの利用により、Ponta ポイントがたまります。これまでは、取引実績等に応じて T ポイントがたまりましたが、2021 年 11 月から、Ponta ポイントを選択されたお客さまには、以下のとおり Ponta ポイントを加算します。

国内株式現物取引 (国内株式手数料マイルージ)	スタンダードプラン及び現物 PTS 取引の月間手数料の 1.1%相当のポイント
投資信託取引 (投信マイルージ)	・対象投資信託の月間平均保有額 1,000 万円未満:年率 0.1%相当のポイント ・対象投資信託の月間平均保有額 1,000 万円以上:年率 0.2%相当のポイント ※一部のファンドは 0.1%未満の加算率となります。
金・プラチナ取引 (金・プラチナ・銀マイルージ)	スポット取引及び積立買付の月間合計手数料の 1.0%相当のポイント
新規口座開設	一律 100 ポイント
国内株式入庫	1回の移管入庫につき 100 ポイント

※ 金融商品仲介業者経由で口座開設されたお客さまは、一部対象外となる場合があります。

※ Ponta ポイントをためるには、Ponta 会員規約に同意いただく必要があります。

②「Ponta ポイント投資」(ポイントがつかえる)

概要	投資信託の買付代金に Ponta ポイントが利用可能 (買付代金の全額または一部)
対象サービス	金額指定の買付 ※ 積立買付、口数買付、ジュニア NISA 口座における買付は対象外
ポイント利用単位	1 ポイント 1 円相当 ・利用上限:なし ・利用下限:最低 1 ポイントから利用可能

■今後の予定

11月のサービス開始に向け、お得なキャンペーンを企画しており、詳細が決まり次第、WEBサイト等でお知らせします。

■Q&A

Q. メインポイントの変更はいつできますか？
A. メインポイントは、メインポイント設定画面から変更することができます。なお、変更はいつでも可能です。
Q. PontaポイントとTポイントを合算して使うことはできますか？
A. ポイント利用時にPontaポイントとTポイントを合算することはできません。ご利用が可能なポイントはメインポイント設定がされているポイントのみになります。また、Pontaポイントの利用にはPonta会員IDの連携をしていただく必要があります。
Q. PontaポイントとTポイントで付与率等に違いはありますか？
A. PontaポイントとTポイントの付与率等は同水準のサービス内容となります。

<金融商品取引法に係る表示>

商号等 株式会社 SBI 証券 金融商品取引業者

登録番号 関東財務局長(金商)第44号

加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会

<手数料等及びリスク情報について>

SBI証券の証券総合口座の口座開設料・管理料は無料です。

SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。
